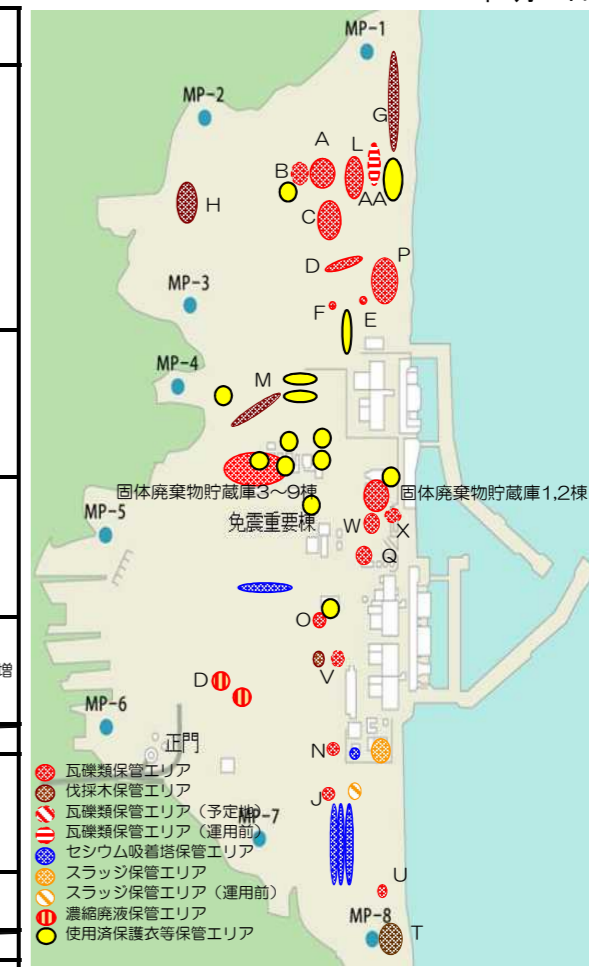


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.2.28 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 ^{※1} (2018.3.1)	変動 ^{※2} 理由	エリア占有率	保管量 ^{※3} /保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	167600 / 214300 (78%)	・フランジタンク解体片 エリアP1にて一時保管中。(2015年6月15日～) 2018年2月末時点で567基(コンテナ)保管。
	C	屋外集積	0.01未満	59,900 m ³	+900 m ³	①	95%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
	J	屋外集積	0.02	2,900 m ³	-700 m ³	②	37%		
	N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45%		
	O	屋外集積	0.01未満	41,100 m ³	+1,200 m ³	③④	80%		
	P1	屋外集積	0.01	48,500 m ³	+1,200 m ³	①	76%		
瓦礫類 シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	33600 / 71000 (47%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)が完了し受入開始。
	E1	シート養生	0.03	13,600 m ³	微増	—	85%		
	P2	シート養生	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	61%		
	W	シート養生	0.08	4,400 m ³	+1,200 m ³	①	15%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	21400 / 27700 (77%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。
	A	仮設保管設備	0.25	6,700 m ³	+200 m ³	⑥	95%		
	E2	容器 ^{※4}	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.02	9,000 m ³	-300 m ³	⑨	20%	9000 / 45600 (20%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。
	合計(ガレキ)				231,500 m ³	+4,600 m ³	—	65%	
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,200 m ³	+100 m ³	⑩	63%	96600 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	微増	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増	—	2%		
	伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%	37300 / 41600 (90%)
T		伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%		
合計(伐採木)				133,900 m ³	+100 m ³	—	76%		
保護衣 屋外集積	容器	0.04	60,900 m ³	+1,600 m ³	⑪	86%	60900 / 71200 (86%)	・使用済保護衣等焼却量 3438t (2018年2月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 796本 (2018年2月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				60,900 m ³	+1,600 m ³	—	86%		
仮設 瓦礫類	U(仮設分)	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—			・タンク設置スペース確保に伴い、エリアUより持込み。
合計(仮設運用エリア)				700 m ³	0 m ³	—			

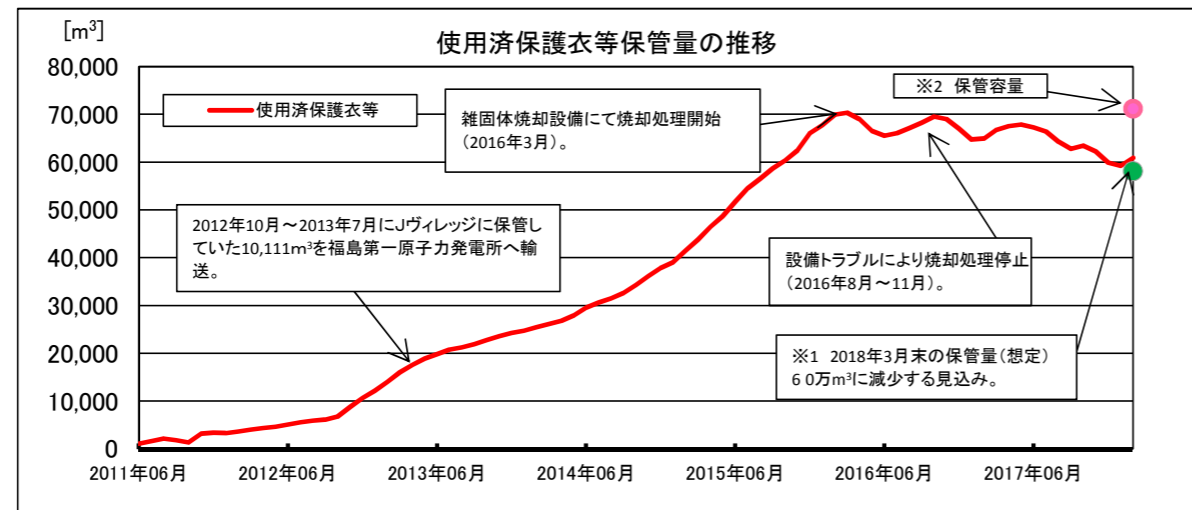
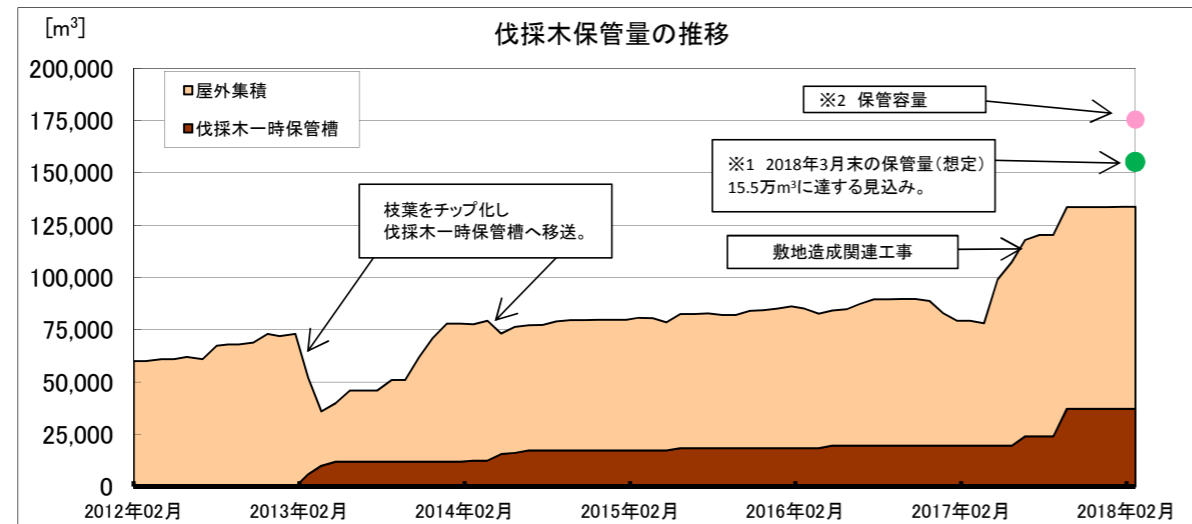
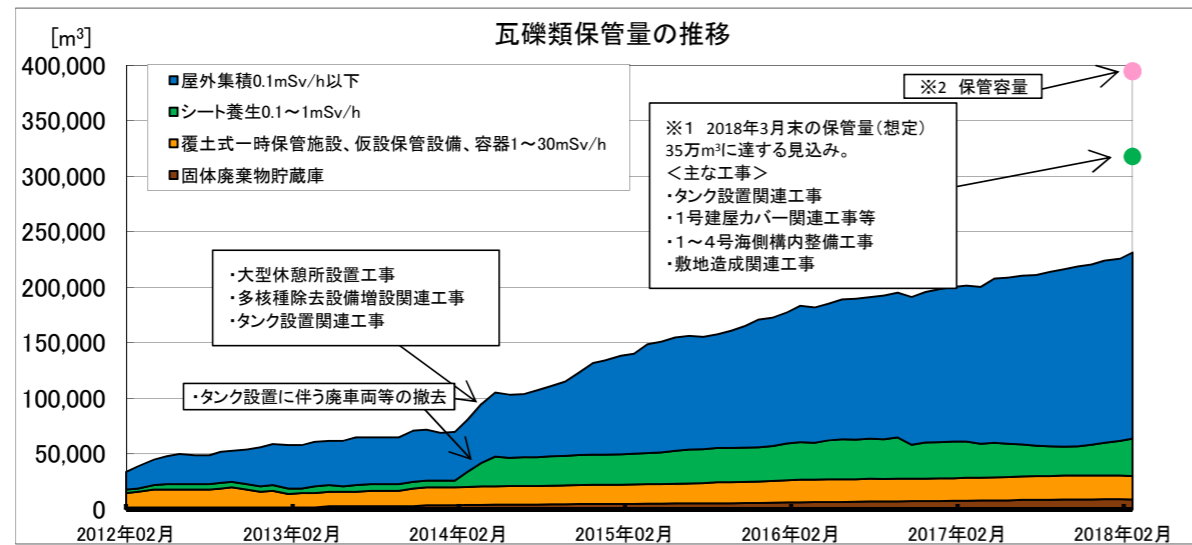
※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連設置工事 ②瓦礫を一時保管エリアOに移動 ③構内一般廃棄物 ④一時保管エリアJから瓦礫の受入 ⑤構内所在不明物品 ⑥一時保管エリアQから瓦礫の受入
 ⑦瓦礫を一時保管エリアAに移動 ⑧固体廃棄物貯蔵庫から瓦礫の受入 ⑨瓦礫を一時保管エリアQに移動 ⑩構内除草・除伐業務 ⑪使用済保護衣等の受入
 ※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2018.3.1時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2018.2.1)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次廃棄物 使用済吸着塔保管施設		セシウム吸着装置使用済ベッセル	763 本	0 本	3913 / 6368 (61%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	194 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,451 基	+5 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	11 塔	0 塔		
水処理二次廃棄物 廃スラッジ貯蔵施設		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	198 本	+2 本	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
		廃スラッジ	597 m ³	0 m ³		
水処理二次廃棄物 濃縮廃液タンク		濃縮廃液	9,330 m ³	+11 m ³	9330 / 10700 (87%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9230 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS): 約100[m]

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.2.28時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年1月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2018年1月26日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.3.1時点)

